

令和5年5月2日
石川県選挙管理委員会
(内線 3548)
(外線 076-225-1282)

新有権者のメッセージ募集について

石川県選挙管理委員会及び石川県明るい選挙推進協議会では、明るい選挙推進事業の一環として、高校生を対象に、「初めての投票」をテーマにした新有権者のメッセージを募集します。

締め切りは令和5年9月8日（金）、応募方法は別添チラシのとおりです。

応募先（お問い合わせ先）

石川県選挙管理委員会事務局 （076-225-1282）

令和4年度の優秀作品は次のとおりです！



テーマは「初めての投票」だよ。
「初めての投票」について、自分の意見や考えや伝えたいことなどを
メッセージにして、応募しよう！

石川県選挙管理委員会委員長賞

「最近の若者は政治に興味がない」という声をよくメディアを通して耳にする。確かに、若い世代の投票率は低いし、僕もあと2年で有権者となるが、あまり実感がわからない。しかし、選挙は私たちが政治に参加できる限られた手段の一つだ。だから僕は選挙権を無駄にせず、日本の未来を担い、信頼できる人に投票したいと思う。

石川県立七尾高等学校 1年 広畑 圭唯

石川県明るい選挙推進協議会会長賞

自分たち若者にとって良い政策をしてもらうには、高齢者よりも若者の投票率を上げなければなりません。有権者が十八才以上となったことで、十代の意見も社会に反映される機会が増えました。選挙権があるということは、私たちに社会を変えるチャンスがあるということ。自分に与えられた一票に責任を持って、投票するべきだと思います。

石川県立七尾高等学校 1年 羽石 真奈美

～優秀賞～

「選挙に行こう」「投票しに行こう」と言うことは簡単です、変えなければいけないのは「有権者の意識」だけではなく、「選挙に行く意味」です。私達の声が政府に届く、意見が反映される、そのことを念頭に置き投票に行きたいです。そのため、自分の意思をしっかりと持ち、責任を持つ。そうやって、「初めての投票」に臨みたいです。

石川県立七尾高等学校 1年 神代 一彰

SNSで思ったことを簡単に発信できる時代だから、投票所まで行く必要がある選挙の投票率が低いのもかもしれない。だけど考えてほしい。SNSで呟いても自己満足しかできないけど、選挙に行けば、たとえ小さな一票でも積み重ねて国民の思いとして届けることができる。自分の国の未来を人任せになんてしたくない。だから私は投票したいと思う。

石川県立七尾高等学校 1年 中島 汐莉

私は新有権者になって改めて選挙について考えた。たった一票だが、未来を変える鍵だと思う。しっかり意志を持って投票する一票も、気分を選んで投票する一票も同じ一票なのだ。自分も政治を動かす一人として自覚を持ち、意志と責任を持って投票したいと思う。たかが一票だと思わず、自分の一票を大切にしていきたい。

石川県立羽咋工業高等学校 3年 舛岡 和佳奈

私は選挙について今まで気にしたことはありませんでした。選挙のことをよく知らないから、他の人が投票してくれるからと選挙なんて私に関係ないものと思っていたけど、1つの投票によってこれからの社会が新たに変わり、よりよい社会に1歩近づくことができる考えるとあらためて選挙ができるようになった今よく考えて投票しようと思う。

石川県立松任高等学校 3年 北井 歩実